

巨大CTデータの扱い方

データ容量が大きい場合、ハードウェア上の制約ですべてを3D表示することが出来ません。そこで、関心領域だけのデータに切り出してから3D表示します。

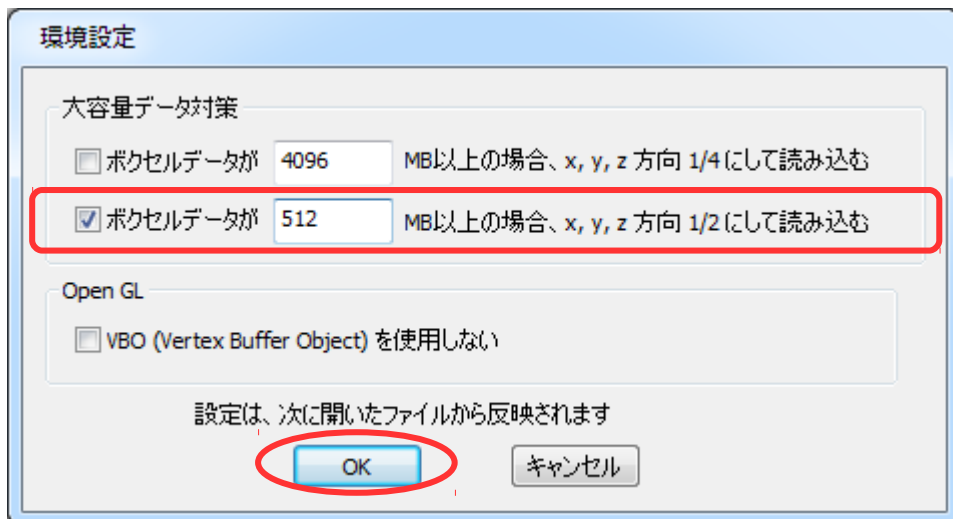
1/n 読み込み

大きすぎてそのままでは表示できないので、1/n 読み込みを行います。

[設定(P)] メニューから [環境設定(Z)] を選択します。

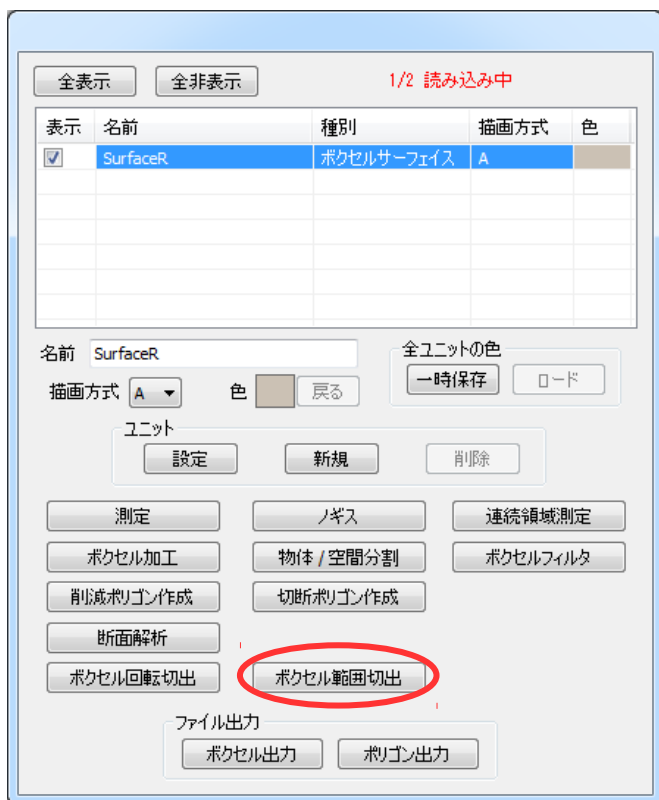


[ボクセルデータが MB以上の場合、x, y, z方向 1/2にして読み込む] にチェックをいれ、[OK] をクリックします。その後、改めて .mol ファイルを開きます。1/2でも表示できなかった場合は、1/4にして読み込みを行ってください。

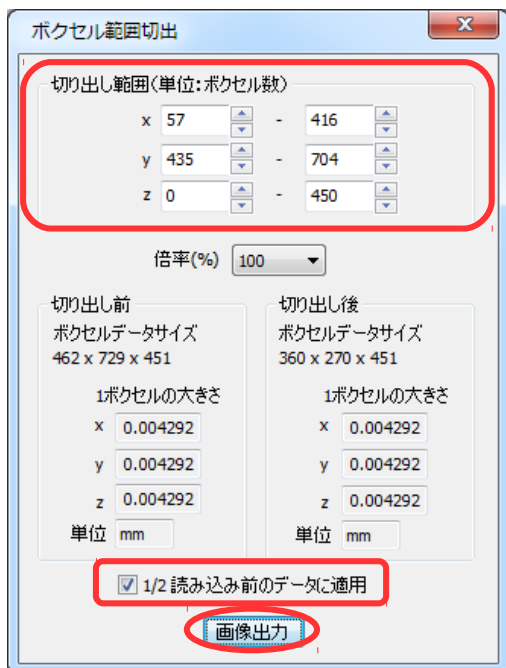


ボクセル範囲切り出し

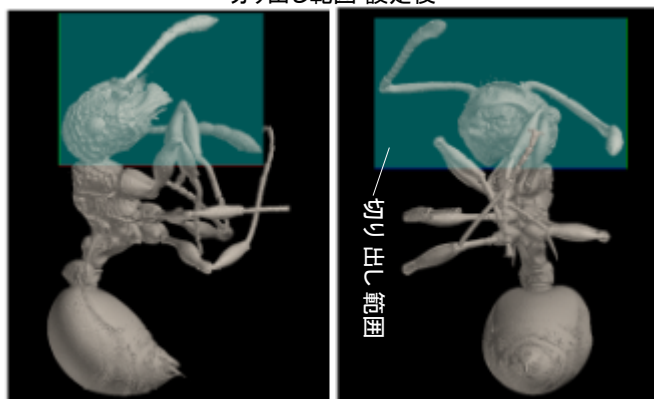
ファイルを開いた後、レンダリング方法をサーフェイスにして、メインコントロールの [ボクセル範囲切出] を開きます。



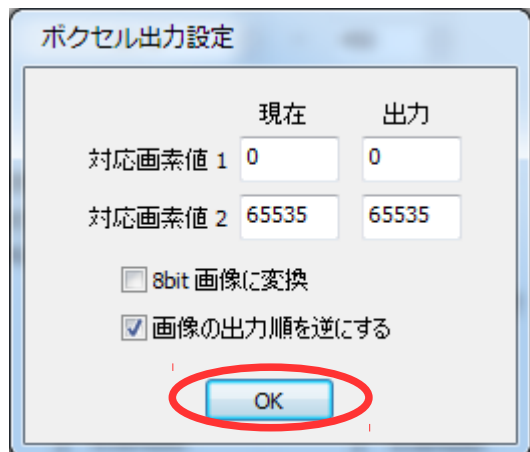
関心領域が収まるように切り出し範囲を設定し、[1/2 読み込み前のデータに適用] にチェックをいれて [画像出力] を実行します。(1/4で読み込んだ場合は、[1/4 読み込み前のデータに適用] となります)



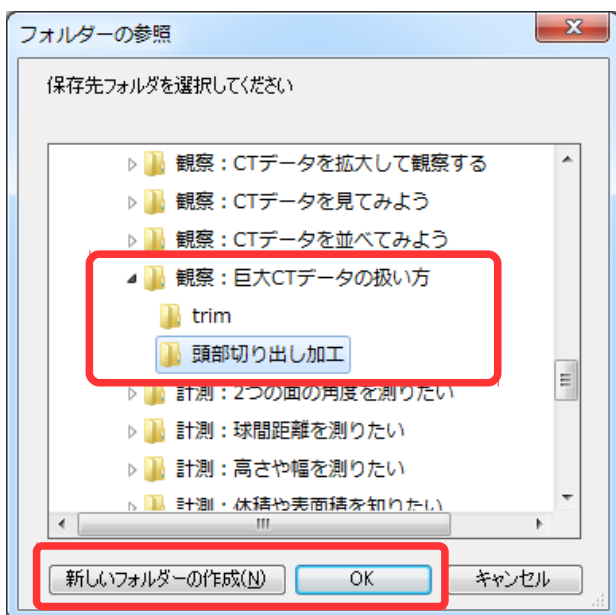
切り出し範囲 設定後



[OK] をクリックします。



保存先を設定し、 [OK] をクリックします。



保存した連続断面画像から、縮小を行わずに関心領域を表示することができました。

